

第72回Suzuka Voice FM番組審議会 議事録

審議会開催日時 令和4年2月20日(木)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて審議

番組審査委員：(順不同・敬称略) 森健成 廣田隆延 服部高明 田城朋子

岡本隆典 長橋祐子 市野聖治

委員総数：7名

■地域団体と協力した番組放送についてについて審議

議題詳細)

例年1月1日～3日にかけて年始特別番組として、鈴鹿市・三重県のためにご活躍いただいている方々からの年始挨拶を放送している。新年の始まりを飾る番組として続けているが、視聴者のみなさまに、より聴きやすく感じてもらい、ご出演いただく方々の言葉に耳を傾けていただけるような構成・内容となるよう以下のご意見をいただいた。

意見・提案等)

- ・新年のあいさつをラジオを通して音声で聞けるのは身近に感じられて意味があると思う。知事に直接話をいただくのは難しいと思うが、声が聴けると嬉しいと思う。
- ・知名度のある方々なので、番組の存在を知っていれば興味のある方は細部まで聴取するのではないかと思う。番組の紹介がうまく浸透すればと思う。
- ・アナウンサーのメッセージ読み上げ、本人の声、インタビューと混在していた。本人の声が良いと思う。国会議員の皆さんの挨拶はどうしても政治的な内容も含まれ、政見放送のようなイメージになってしまいがちなので、前年に活躍された方や、今年活躍が期待できる方などで企画していただければと思う。
- ・政見放送のような内容になっており、市民には面白みは欠けるかもしれない。人となりを表す内容であれば興味も沸くのでは？全く政治と関係ないテーマを決めれば議員の方も安心してそのような内容の録音に応じるのではないか。
- ・年頭の挨拶としては本人の声で挨拶をいただくのが一般的かと思う。知事の文言の読み上げはやはり本人からのほうが良いと思った。続いた方々の直々のお話の方が新年の挨拶らしく良かったのではないか。

以上